

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

[illegible]

	カ テ ゴ リ	非 該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
18		☐	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	現在、取り組んでいない。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		☐	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	現在、取り組んでいない。												12.6					
20		☐	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	現在、取り組んでいない。							7.2						13				
21		☐	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	山)再生可能資源である木材を将来に渡り継続して活用できるよう、主伐・再生林の促進に努めている。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	☐	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	経営会議などで周知している。																16 16.5	
23		☐	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	経営会議などで周知している。																16	
24		☐	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	ホームページ、SNS作成時などは知的財産権を侵害しないよう確認を行っている。 事業の紹介の際も従業員の意向を確認し、承諾を得た場合のみ画像を使用している。								8.2 8.3	9								
25		☐	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本	個人情報の扱いに関して掲示、取引業者にも周知、管理している。 個人情報の入った資料は鍵をかけて保管している。																16	
26		☒	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	該当しない。																16	
27		☐	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	現在、取り組んでいない。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	☐	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	プ)仕入れ先に確認を行っている。			3.9									12.4					
29		☐	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	プ)月に2棟、納品先(現場)にて製品の確認を行っている。									9								
30		☐	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	山)地元の間伐材で今までは活用できなかった部位を使用し、地元の木工職人さんに協力してもらい製品化(食器など)、販売に取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
31		☐	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	山)植林イベントを行い、内外の人に植林の必要性を伝えと共に、収穫期を迎えた山林の若返りを促し、里山整備につなげている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
32	社会貢献・地域貢献	☐ 【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	近隣住民とも密にコミュニケーションを取っている。 週に1回、工場周辺の清掃活動を行っている。 山)施業と合わせて、周辺の支障木伐採などを無償で引き受けることがある。				4					9		11	12		14	15		17
33		☐ 【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地元の高校など学校の職業体験や研修を受け入れている。				4							11			14	15		17
34		☐ 【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	山)地元で伐採した木を使用し再生可能エネルギーの地産地消化に向けたシステムの構築に取り組んでいる。								8	9		11	12	13				
35	組織体制	☐ 【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営目標などを各部署に掲示し、社内で共有している。								8	9								17
36		☐ 【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	経営会議、品質会議などで常に周知徹底している。 山)安全装備や作業方法など改訂がされた場合は、作業員にも資料を配布し、必要に応じて安全会議などで周知している。																16	
37		☐ 【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	責任者を定め、対応している。																16	
38		☐ 【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーとは常に連絡を取り合い、対応している。																16	17
39		☐ 【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	山)現場でのヒヤリ・ハットをもとに、簡易リスクアセスメントを実施している。今年度はリスクアセスメントに関して講師を招き、講義・演習を行う予定でいる。																16	
40		☐ 【社会的責任】 ・ C S R（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	現在、取り組んでいない。																16	
41		☐ 【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	現在、取り組んでいない。									9		11		13 13.1			16	
42		☐ 【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	現在、取り組んでいない。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・ 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。） ・ 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。 ・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林C02吸収評価認証制度、長野県県産材C02固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）
--